

2022年度 NITE講座(シラバス)

科目名	事業者等における製品安全対策の基礎知識	募集定員	各1000名	開講機関 (実施方法)	製品評価技術基盤機構製品安全センター (オンライン講座: Zoom)
科目概要	<p>本講座は、基礎講座、リスクアセスメント講座、事故分析講座で構成しています。</p> <p>基礎講座では、製品安全の基本的な考え方や製品安全に係わる人材が認識しておくべき共通事項として、これまで発生してきた重篤な製品事故とそれを契機とした製品安全対策、最近の製品安全行政の動向、海外の製品安全動向、消費生活用製品の事故情報・リコール情報の調べ方等について紹介します。</p> <p>リスクアセスメント講座では、製品安全でのリスクアセスメントの基本的な考え方と実習、事故情報を活用した未然防止に繋がる事例、広報による事故リスクの低減などを紹介します。</p> <p>事故分析講座では、製品事故が発生した場合、調査を実施する上での技術的な着眼点と実際の事故事例や実際の調査の進め方を、電気、機械、化学の3分野について紹介します。</p> <p>新たな取り組みとして最新の製品安全関連情報をお届けする【TOPICS】枠を設けました。リピーターの方にとっても新たな情報や知見に触れる内容となっています。</p> <p>本講座を受講することにより、企業等における設計や製造・品質管理における製品安全対策等に役立てることが期待されます。</p>				

科目構成	No.	講義名	講義概要	講義日	時間	開講場所
製品安全ってなんだろう？という疑問に答える基礎講座 (定員:1000名) 【主な対象者】企業で初めて品質管理に携わる方など製品安全の基礎知識を習得したい方	1	【TOPICS】製品安全行政の概要と今後の動向	経済産業省における製品安全に関する最新の規制動向や取組として、インターネット取引における製品安全の現状と課題、リチウムイオン蓄電池の安全対策、ガストーチに係る規制のあり方について、乳幼児の誤飲による事故への対応、IoT関連製品の安全性検討、PSアワード及び製品安全対策自己宣言について解説します。	10月7日(金)	13:00~14:10 (70分)	オンライン (Zoom)
	2	【TOPICS】製品事故の最新動向	製品事故情報収集結果と最近の事故トレンドを解説します。		14:10~14:40 (30分) 休憩10分	
	3	【TOPICS】海外の製品安全動向	欧米等において問題となっている製品、リコール事例等を紹介しします。		14:50~15:40 (50分)	
	4	過去の重大な製品事故と製品安全の考え方	石油温風暖房機による一酸化炭素中毒死亡事故等、過去の重大な製品事故やその行政指導等について紹介し、共通認識として製品安全を実現するために事業者、消費者、行政の役割は何か、また、安全・リスクなどについて解説します。		15:40~16:30 (50分) 休憩10分	
	5	【TOPICS】安全対策のための標準と規格開発	繰り返される製品事故を未然に防止するために、製品横断的、個別製品の規格や技術基準・業界標準の作成及び支援を行っています。これまでの取り組みや現在、取り組んでいる内容を紹介します。		16:40~17:10 (30分)	
安全な製品をどうやって見極めるの？という疑問に答えるリスクアセスメント講座 【主な対象者】企業で製品の設計・開発や仕入れ業務に携わる方で、リスクアセスメントの知見を得たい方	1	リスクアセスメントの基礎	消費生活用製品を製造又は輸入する事業者には、単に法規制を遵守するだけでなく、使用者の視点に立ったリスクアセスメントを行い、より安全性を高めた製品を市場に供給することが求められています。本講座では、製品安全分野におけるリスクアセスメントの基礎を学びます。	12月16日(金)	13:00~14:00 (60分)	オンライン (Zoom)
	2	事故事例とリスクアセスメントの実習	事故の多い製品についてリスクアセスメントの事例や、リスク低減にみるその効果を紹介し、リスク評価手法を体験していただきます。		14:00~15:00 (60分) 休憩10分	
	3	【TOPICS】SAFEの概要と活用事例	製品設計・開発時に活用できる製品リスクアセスメント支援ツールSAFE(SAFE-Pro及びSAFE-Lite)について説明します。また、実際のSAFEの活用事例や協力事業者との取り組みについて紹介します。		15:10~16:00 (50分)	
	4	【TOPICS】広報による消費者誤使用・不注意事故のリスク低減について	消費者の誤使用・不注意事故を防止するための効果的な広報活動について、消費者にどのような反響があったかを検証しつつ、これまでの取り組みを中心に紹介します。		16:00~17:00 (60分)	
	5	NITEを共創のパートナーに—NICEプログラム・チームNITEの取り組みのご紹介	NITEでは、企業による「価値」ある製品・サービスの創出・提供や技術の社会実装の解決のために、イノベーション支援に係る取り組みをスタートとしています。本講義では、「NICEプログラム」と「チームNITE」の2つの取り組みの概要を説明いたします。		17:00~17:10 (10分)	
製品事故の原因はどうやって調べるの？という疑問に答える事故分析講座 (定員:1000名) 【主な対象者】企業、消防、警察等で製品事故調査に携わる方で、技術的な知見を得たい方	1	【TOPICS】リチウムイオン電池をとりまく社会の事故リスク評価と製品安全	令和3年度、NITEはビックカメラと連携し「リチウムイオン電池の正しい使い方・捨て方」を注意喚起しました。この取り組みにまつわる、リチウムイオン電池等が引き起こす廃棄プロセスにおける、事故リスク評価について紹介します。	2月3日(金)	9:30~9:50 (20分)	オンライン (Zoom)
	2	【TOPICS】最近の事故情報について	①乳幼児製品(幼児用自転車、ベビーカー)の事故事例の紹介		9:50~10:20 (30分)	
			②燃焼器具(ガストーチ)の事故事例の紹介		10:20~10:50 (30分) 休憩5分	
			③リチウムイオン電池関連製品(コードレスクリーナー用非純正バッテリー、電動草刈機)の事故事例の紹介		10:55~12:00 (65分) 休憩60分	
	3	電気分野の事故原因調査手法について	電気分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。		13:00~14:30 (90分) 休憩5分	
4	機械分野の事故原因調査手法について	機械分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。	14:35~16:05 (90分) 休憩5分			
5	化学分野の事故原因調査手法について	化学分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。	16:10~17:10 (60分)			